

小学校の各教科等の重点

目指す子供の姿

- 児童が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させている。
- 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①道徳科の特質を生かした学習活動の充実

- ◇答えが一つではない、道徳的課題について、児童自らが学びたいという課題意識や課題追及への意欲を高め、学習の見通しがもてるように課題設定を工夫する。
- ◇教材や児童の生活体験などを生かしながら、一定の道徳的価値に関わる物事を多面的・多角的に捉えることができるように指導を工夫する。
- ◇ねらいとする道徳的価値について、児童自身がどのように捉え、どのような葛藤があるのか、また道徳的価値を実現するとどのような意味を見いだすことができるのかなど、児童が自覚できるような指導を工夫する。

②評価を指導の改善に生かす工夫

- ◇道徳科の学習活動及び「徳島版読解力」を鑑み、指導の根拠を明確にし、主体的かつ効果的な学び方を児童自ら考えることができるような工夫や、児童自らが道徳的価値を実現するための課題や目標、及び道徳性を養うことよさや意義について考えることができるような工夫を検討する。
- ◇年齢相応の発達段階があるとともに個人差も大きいことに留意し、「徳島ICT活用モデル」等を参考にしながら、児童一人一人の考え方や感じ方を大切に授業の展開を検討する。